

網走地方の畑作地帯における有機物および 土壌の窒素評価と施肥対応*

技術吏員 農学博士 今 野 一 男**

目 次

第1章 緒 言	1
第1節 背景と目的	1
第2節 既往の研究	3
第2章 緑肥および収穫残渣物の窒素評価	11
第1節 麦稈および緑肥の分解過程	11
第2節 緑肥窒素の無機化率の変動要因	18
第3節 後作物による緑肥窒素の利用率	22
第4節 緑肥すき込み地におけるテンサイの窒素施肥対応	27
第3章 バーク堆肥の窒素評価	32
第1節 バーク堆肥の腐熟度と窒素の有機化・無機化	32
第2節 腐熟度の異なる各種バーク堆肥の窒素肥効と作物生育	36
第4章 土壌窒素の評価	42
第1節 土壌の可給態窒素評価法の検討	42
第2節 無機態窒素の変動要因	52
第3節 土壌窒素の無機化特性	58
第5章 土壌窒素評価に基づくテンサイの最適窒素施肥量	67
第1節 テンサイの最適窒素吸収量および施肥窒素利用率	67
第2節 土壌診断による施肥窒素量の予測	70
第6章 総合考察	76
第7章 要 約	81
謝 辞	83
引用文献	84
Summary	95

* 岩手大学審査学位論文

** 北海道立北見農業試験場 (099-1496 常呂郡訓子府町字弥生52番地)